

(概況)

平成16年の大分県鉱工業生産指数は、112.4で前年比4.9%と3年連続の上昇となった。

全国生産指数は100.2で前年比5.5%と2年連続の上昇となった。九州は105.4で前年比5.5%と2年連続の上昇となった。

本県の鉱工業の動向について、生産指数を四半期別にみると、Ⅰ期、Ⅲ期は前期比で低下したものの、Ⅱ期、Ⅳ期は前期比で上昇した。業種別にみると、前年に比べ電気機械工業、プラスチック製品工業、精密機械工業等10業種が上昇し、繊維工業、非鉄金属工業、家具工業等8業種が低下した。特に電気機械工業、精密機械工業の2業種で上昇寄与全体の83.5%を占めている。財別では最終需要財が5年連続の上昇となり、生産財は3年ぶりの低下となった。

出荷指数は、120.9で前年比6.3%となり、3年連続の上昇となった。業種別にみると、前年に比べ金属製品工業、電気機械工業、化学工業等9業種が上昇し、繊維工業、家具工業、非鉄金属工業等9業種が低下した。

在庫指数は、92.6で前年比0.0%となり、横ばいであった。業種別にみると、プラスチック製品工業、木材・木製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業等7業種で上昇し、食料品・たばこ工業、窯業・土石製品工業、鉱業等10業種が低下した。

【生産指数及び対前年比の推移】

生産指数(平成12年=100)

